

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1163	(H.25)No.	1163
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ふるさと能文化振興事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	502501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	ふるさと能文化振興事業	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 文化振興費	ふるさと能文化振興事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
「能楽のふるさとづくり」を目指して、伝統文化の伝承・発展や市民の充実した文化活動ができるよう支援を行います。名張の特色ある文化を育みながら、積極的に発信していきます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	事業内容		
主な事業の実績・計画	観阿弥顕彰会が行う観阿弥祭とタイアップし、「名張能楽祭」を実施しました。	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援	総合計画でもうたわれている「能楽のふるさとづくり」の実践のため、「観阿弥創座の地」を情報発信するイベントの開催や、子ども狂言の会への支援・協力を行っています。		
	報償費 1,554千円 需用費 41千円 使用料 182千円	報償費 1,836千円 需用費 93千円 委託料 71千円 使用料 210千円 旅費 11千円	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
			名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援	名張能楽祭の実施及び子ども狂言の会支援

	H.25年度(決算見込)		H.26年度(作成時予算額)		H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	1,776千円		2,221千円		2,230千円	2,230千円	2,230千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	1,776	2,221	2,230	2,230	2,230	
人工数	職員 0.20人		0.20人		0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等							
②概算人件費	(0千円)	1,520千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円	1,520千円
①+②総事業費	(0千円)	3,296千円	3,741千円	3,750千円	3,750千円	3,750千円	3,750千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
能楽のふるさとづくりの取組として、観阿弥祭、名張能楽祭を開催しました。また、文化交流の取組として、「第25回民俗芸能inとしま」に名張子ども狂言の会が参加し、交流を深めるとともに全国に発信することができました。	引き続き子ども狂言の会への支援を行うとともに、名張能楽祭の開催など地域づくり組織と協働しながら「能楽のふるさとづくり」の取組を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	「能楽のふるさと名張」の実践のため、子ども狂言の支援と関連するイベントを実施するなど、名張の特色ある文化を育む取組を進めました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	観阿弥顕彰会ならびに美旗まちづくり協議会と協働して、事業を推進しています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
名張能楽祭の開催にあたっては、より多くの市民に参画いただけるよう取組を進めます。また、民間助成を活用し、多様なイベントの開催を検討するとともに、一層の情報発信に努めます。	